



やすずみ町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



わぁ～釣れた！（安徳の里・姫路公園まつり）

もくじ

- 3月定例会2
- 臨時会（第1回）5
- 一般質問（11人が質問）7
- 議案等議決結果18
- 私も言いたい（議員OBからの声）20

第45号

（平成28年5月）



町の花「さつき」

子育て・教育を重点に

108億9,000万円

3月定例会を3月7日から3月24日まで18日間の会期で開催した。

平成28年度一般会計・特別会計をはじめ、平成27年度補正予算、人事案件3件、辺地に係る総合整備計画・過疎地域自立促進計画の策定、法改正に伴う条例の制定、改正など町長提出議案54件・議員提出議案4件を原案どおり可決した。

また、陳情5件は、採択2件、不採択3件とした。

一般質問は、11人の議員が登壇し、町政全般について町長に質した。

平成28年度一般会計予算

総額は108億9000

0万円で、前年度対比9億95000円、率にして10・1%の大幅な増。

主な要因は、船岡地域の新保育所の整備費、新生八東小学校の整備費を予算化したことによる。

△主な歳出▽

- 情報通信基盤整備事業費 6936万円
- 若桜鉄道対策費 1億5447万円
- 地方創生推進事業費(ミニSL・若桜鉄道) 1億1838万円
- 地方創生推進事業費(居住定住・婚活) 3046万円
- 町営バス事業費 3319万円
- 臨時福祉給付金支給事業費 2286万円
- 放課後児童クラブ運営費 1511万円
- 児童手当給付事業費 2億4609万円
- 保育所運営費 2億9553万円
- 保育所施設整備費 7億4929万円

平成29年4月開所予定の(仮称)船岡保育所の新築費。

○ごみ処理費

2億2352万円

○包括支援センター事業費

1852万円

○集落支援事業費

1238万円

○自立支援制度事業費

4億2982万円

○福祉施設管理費

2100万円

○生活保護扶助費

1億8824万円

○長寿健康増進事業費

4543万円

○多面的機能支払交付金事業費

1億52万円

○鳥取梨生産振興事業費

441万円

○地域おこし協力隊事業費

2747万円

○がんばる地域プラン事業費

2317万円

○きのこ王国とっとり推進事業費

635万円

○野生鳥獣被害防止事業費

6951万円

○スクールバス管理運営費

5318万円

○スクールバス整備事業費

5817万円

バスを購入する費用。(中型2台・小型1台・更新1台)

○小学校改修事業費

3億2458万円

新生八東小学校の大規模改修費用。

○後期高齢者医療総務費

2億869万円

【質疑】

フルーツ街道の継承・八頭町ブランドの確立・果樹栽培の振興・後継者の育成、これらの内容について予算項目がないが。

【答弁】

吉田町長 本町の農業ビジョンを27年度中に作成する。

【質疑】

検証委員会の報奨金が15万円あるが、内容は。

【答弁】

吉田町長 総合戦略をPDCAで回すことにしており、検証を行う委員会の費用。

【質疑】

①ミニSL博物館整備事業、この秋にも動き出すようになっているがいつ

決まったのか。
②町が行う観光事業の目的、目標は何なのか。
③赤字を出して地域活性化が図れるのか。

答弁 吉田町長

①予算を上程しただけだ。
②いろいろ組み合わせて観光事業をつくり、町のにぎわいをつくることだ。
③行政としては、覚悟して取り組む必要があるのではないか。

質疑

税の徴収率向上について予算化されているのか。

答弁 吉田町長

コンビニ収納を29年度から予定。本年度準備をする。

質疑

部落解放同盟八頭町協議会の補助金が約100万円減っている。どれくらいまで減らせばよいと考えているのか。

答弁 吉田町長

段階的削減の話をしてるところだが、幾らの額が適当だとは言えない。

質疑

スクールソーシャルワーカーの財源は。

答弁 藪田教育長

補助金制度はあるが、枠の関係で一般財源で組んでいる。

質疑

政府の28年度地方財政計画についての見解は。

答弁 吉田町長

町とすれば一定額は確保できたと思っている。普通交付税は1・65%減程度で収まるのではないか。

質疑

関西事務所に関する経費168万円増額の主要施策、アピールは。

答弁 矢部産業観光課長

本年度の取り組みは、交流人口の増を視野に入れ住吉区、東成区を中心に誘客を進めていく。販路開拓では、企業を中心に営業活動を考えている。

質疑

厚労省が27年度から年

間1700億円、国保の保険者支援を行っているが、本町の国保会計にどう反映されているのか。

答弁 吉田町長

交付税会計に原資として27年度は2500万円程度、28年度当初予算では3100万円計上している。

辺地に係る総合整備計画

「八頭町辺地に係る総合整備計画」が平成27年度で5年間の計画期間が満了した。

そのため、大江辺地ほか6地区についても、各地域の要望などを踏まえ、32年度までの5年間にわたる新たな総合整備計画を定めるもの。

過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進特別措置法では、平成32年度まで、引き続き過疎対策が実施される。

「八頭町過疎地域自立促進計画」が27年度で5年間の計画が満了することから、地元の要望など

踏まえて、新たに32年度までの過疎地域自立促進計画を定めるもの。

条例改正(主なもの)

◇八頭町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正

大江線・私都線は距離運賃制で運行していたが、公共交通の利便性の確保と、子育て世帯の経費軽減を図るため、全7路線の町営バス運賃を100円に統一するもの。

◇ふるさと活性化基金設置条例の一部改正

若桜鉄道の活性化に取り組み中で、当基金設置条例に規定する事業に、若桜鉄道運行に関する事業を加えるもの。

◇八頭町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

身体、生命に重大な危険性がある職員に支給するもの。

質疑

①職員の身体・生命に重大な危険性があり、職員

に対する安全対策が必要ではないか。
②心身に著しい負担がある場合と前提があるが、この定義は、どのような定義なのか。

答弁 吉田町長

①業務の性質上、安全対策は必要だと考えている。
②職員に対しての威嚇脅迫、暴力などだ。

◇八頭町議会議員の定数を定める条例の一部改正(議員発議)

議員定数を16人から14人に改正するもの。

人 事

◇人権擁護委員

人権擁護委員の推薦に同意。

田淵真知子さん(坂田) 内田 義章さん(安井宿)

◇教育委員会委員

教育委員会委員の任命に同意。 山崎 泰國さん(市場)

補正予算

◇平成27年度八頭町一般

会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ5693万円を減額し、総額を108億911万円とするもの。

(主な歳出)

○財政調整基金積立金

3億9600万円

○減債基金積立金

1億9955万円

○ふるさと活性化基金積立金

1798万円

質疑

財調なり減債基金の積み立てが計上されているが、積み立ての経緯は。

答弁 吉田町長

平成26年度の繰越金4億円と普通交付税確定額をあわせ、今回財調に積むもの。

坂根實豊議員に対する懲罰の件

同議員の3月定例会本会議の無断欠席を理由として「本会議での陳謝」を同議員に科するもの。
※本人、本会議で陳謝。

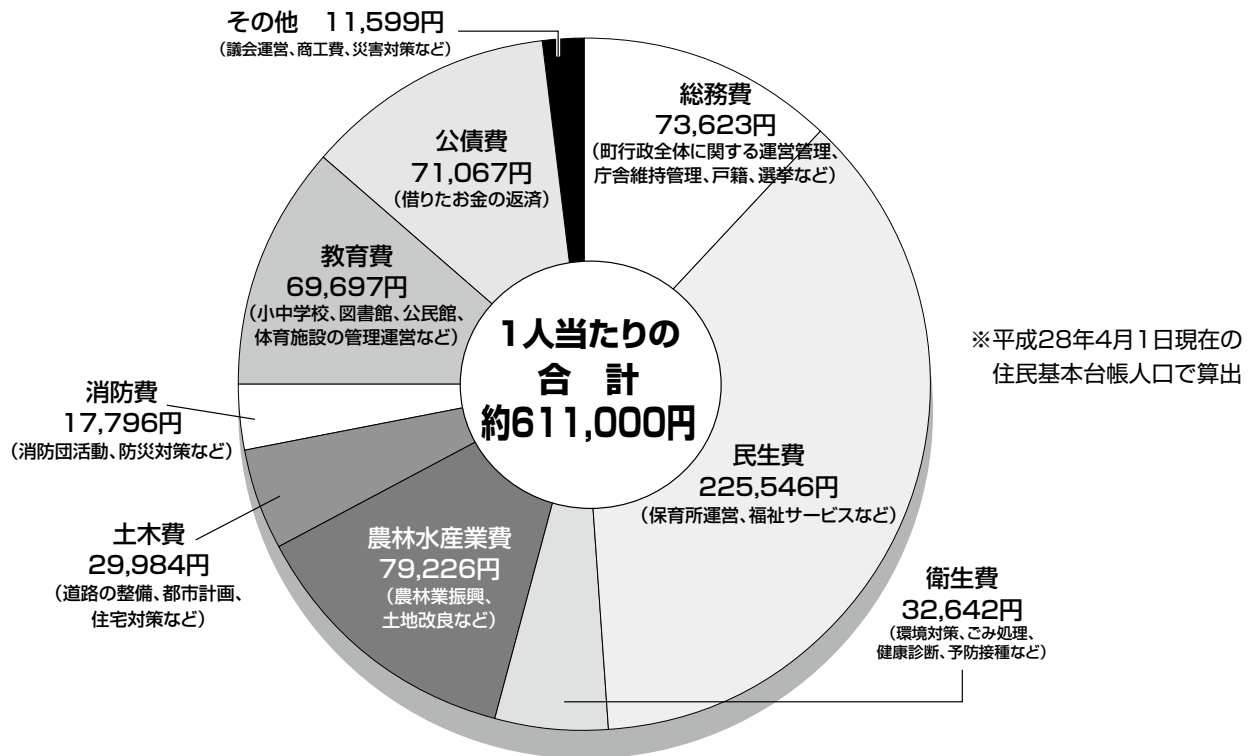
平成28年度 当初予算会計別対前年度比較

(単位:千円・%)

会 計	平成 28 年度	平成 27 年度	増 減	
			増減額	増減率
一般会計	10,890,000	9,895,000	995,000	10.1
国民健康保険特別会計	2,342,000	2,435,000	△ 93,000	△ 3.8
簡易水道特別会計	325,000	317,000	8,000	2.5
住宅資金特別会計	6,200	6,800	△ 600	△ 8.8
公共下水道特別会計	587,000	415,000	172,000	41.4
農業集落排水特別会計	665,000	690,000	△ 25,000	△ 3.6
介護保険特別会計	2,452,000	2,368,000	84,000	3.5
宅地造成特別会計	16,600	15,700	900	5.7
墓地事業特別会計	500	500	0	0.0
後期高齢者医療特別会計	181,200	184,200	△ 3,000	△ 1.6
財産区特別会計(※)	34,093	39,210	△ 5,117	△ 13.1
全会計 合計	17,499,593	16,366,410	1,133,183	6.9

(※) 財産区特別会計は、5つの財産区特別会計の合計です。

町民 1 人当たりの予算額 (一般会計予算)



陳情の審査

○採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	陳情の趣旨を認めた	意見書提出
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害者家族会 連合会 会長 瀨崎智熙	陳情の趣旨を認めた	意見書提出

○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	県内商工業の実情を考慮すると賛同しかねる	—
未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情書	寒川友貴	陳情の趣旨は必ずしも否定するものではないが、実施の環境整備が現段階では困難と推測される	—
TPP協定を国会で批准しないことを求める陳情	農民運動鳥取県連合会 代表者 今本 潔	日本経済の全体を考えると農業対策を実施した上で進めるべき	—

平成28年
第1回臨時会
2月15日

町長提出議案10件、議会議決2件を審議し、全て原案どおり可決した。

条例改正

◇福祉事務所設置条例の一部改正

本年1月から船岡庁舎に設置していた福祉事務所を郡家保健センターに移転したことによるもの。

◇職員の給与に関する条例の一部改正

「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」の成立（1月26日）によるもの。
勤勉手当の月数を1・60とし、期末手当の月数を2・60を合わせて、年間4・20とする。

◇議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員も一般職に準じて、期末手当での支給月数を0・05引き上げ、年間月数を3・15とするもの。

◇特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正
前記の条例の一部改正と同じ内容。

補正予算

◇平成27年度一般会計補正予算（第7号）
歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億6274万円を追加し、総額を108億6604万円とするもの。

（主な歳出）

○地方創生加速化事業 8301万円

○臨時福祉給付金支給事業 7020万円
○助産施設・母子生活支援施設入所措置費 150万円

○県営ため池事業負担金 48万円

○野生鳥獣被害防止事業
奨励金

1044万円

○中学校管理運営費

311万円

質疑

- ① 地方創生について、取り組み姿勢を伺う。
- ② 1億円のミニSSL事業計画は、入り込み客をどれ位と試算しているか。
- ③ イノベーション創設事業委託料940万円で、「単」の活性化をどの様に進めるのか。
- ④ 地方創生加速化交付金は、全額が国の予算か。

答弁 吉田町長

- ① 総合戦略のPDCAサイクルを十分考慮した町民への情報発信である。
- ② 暫く時間をおいて示したい。
- ③ 地域の人に委員会に入ってもらい、業者と話を進める。新たな賑わいのある姿にする予定だ。
- ④ 国の補助対象だが交付決定による対応となる。

質疑

- ⑤ 総合戦略の重点事業評価指標の変更理由は。
- ⑥ 国の交付金は未確定だが、本町議会が予算議決することへの見解は。

答弁

- 角園地方創生監
- ⑤ 学校跡地が対象だが、本年度中1社は非現実的であり5年に5社とした。
- ⑥ 国は予算の実行を確認し支援をする流れだ。

質疑

- ⑦ 海幸・山幸回廊づくり情報発信強化事業委託料1500万円の概要は。
- ⑧ 若桜鉄道沿線活性化イベント事業1100万円の説明を。

答弁

- 川西企画課長兼地方創生室兼若桜鉄道運行対策室長
- ⑦ 観光客の誘致戦略・マスコミ・テレビ・雑誌などに本町をPRしてもらう戦略を練り、プロポーザル方式で実施したい。
- ⑧ 本町内の各駅と周辺ゾーンの観光素材を磨き上げ、

各シーズンに合わせた観光施設の商品開発を行う。

反対討論

高橋信一郎議員
資料の出し方に不満があり、各議員の質疑にもまともに答えていない。議会は執行部に追従だけの批判がある中で無責任な態度はとれない。

◇平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入は一般会計からの繰入金25万円を増額し、歳出では人事院勧告に伴い、職員給与など25万円の増額。

◇平成27年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)

人事院勧告に伴い、職員給与など3万円の増額。予備費3万円を減額調整。

◇平成27年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)

員給与など1万円を増額。予備費1万円を減額調整。

◇平成27年度農業集落排水特別会計補正予算(第4号)

人事院勧告に伴い、職員給与など6万円の減額。予備費6万円を増額調整。

◇平成27年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入は一般会計からの繰入金27万円を増額。歳出では人事院勧告に伴い、職員給与など27万円、諸支出金の第1号被保険者還付加算金31万円を増額。還付加算金は予備費で減額調整。

議会決議

◇坂根實豊議員に対する議員辞職の勧告決議

同議員の職員に対するセクシャル・パワーハラメントの行為を理由として、同議員の速やかな辞職を勧告するもの。

◇議会基本条例を遵守し議員の資質向上に努める決議

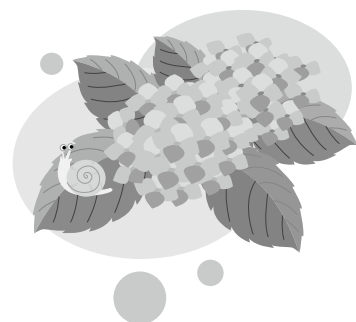
前記の決議を受け、本町議会議員が議員研修等の研鑽を積み、町民の負託に応え資質向上に努めることを決議するもの。

自治功勞表彰

2月16日、自治功勞として次のとおり表彰された。

○全国町村議会議長会表彰

- ・町議会議員として15年以上在職し、功勞のあつた者
- 山本 弘敏 議員
- 池本 強 議員





池本 強 議員

若桜鉄道の経理

検証委員会を立ち上げ調査・公表すること

町長/取締役会で協議をしてみたい

質問

若桜鉄道の平成26年度の赤字3343万円については、前年度において、貯蔵品が売価で計上されていたことが発覚したとして1305万円を過年度損失として処理したとのこと。この貯蔵品の不適正な会計処理は19年度からのことだが、このことは当然決算数値に影響があったといえるのではないか。

答弁

吉田町長
貯蔵品が適正に評価された金額かどうかについて、若桜鉄道に問い合わせたが遡って確認するのは、困難とのことだった。

質問

事前に議会調査を求めたが、資料がないということで、提出ができないという回答であった。その経緯を問う。

答弁

吉田町長
貯蔵品の明細などが、平成24年度以前のも

のではないという回答で提出できなかった。

質問

たかが4年前の決算資料がないなどは、通常の会社では考えられないことだが。

答弁

吉田町長
本当にないということ、重要なことだ。

質問

会社の形態としても、何をか言わんやだ。顛末を調査して報告された。

答弁

吉田町長
できる限りの調査はしてみたい。

質問

12月議会最終日、「25年度決算の貯蔵品の車両保存用に、車両部分が603万円、それより多額の乗車券が655万円含んでいる」と、町長は涼しい顔で一言の釈明もなしに答弁された。乗車券を額面で棚卸に計上す

るなど、考えられないことだが、またその乗車券は車両保存用に含まれている。こんな処理があるのか。これでは幾ら計算機をたたいても分かるはずがなかったわけだ。監査役なら、棚卸表を見ればすぐ分かることだが。

質問

今後の対応として以下のことを提起したいがどうか。
(1)検証委員会を立ち上げ、経緯など調査し公表する。
(2)それを踏まえて、社長以下取締役、監査人は、反省と陳謝をする。

答弁

吉田町長
それこそ、適正な監査をしていなかったということだ。

答弁

吉田町長
意見については、取締役会で協議をしてみたい。



▲ 八東駅貨物ホーム和富祭でのもちつき (28.4.17)



奥田のぶよ 議員

地方創生

施策に各地域差は どう反映されるのか

町長/各地域の特性、 ニーズにあった取り組みを

質問 総合戦略の策定にあたり、本町の分析はどの程度行われたか。各地域差は今後の施策にどのよう
に反映されるのか。各地域のきめ細やかな分析を
どのようにするのか。

答弁 吉田町長

「八頭町人口減少対策
ビジョン」も参考にし、
長期的な人口の将来展望
を行っている。各地域の
分析は、地域の皆様と意
見交換し実態把握を図る
ことが重要だ。

質問

アンケートは地域別の
意見を取り入れるべきで
はなかったか。

答弁 吉田町長

地域別でなく、全地域
で広域的な年齢別の意見
を聞いている。

質問

総合戦略の取り組みに
ついて、丁寧な説明が必
要だ。行政懇談会はいつ
するか。

答弁 吉田町長
7月ぐらいに開催した
い。

質問

成人式や婚姻届の時な
どを利用して若い人のア
ンケートを実施しては。

答弁 吉田町長

若い人の意見は重要
だ。意見を取り入れるよ
うなアンケートは工夫し
てみたい。

交通安全対策

八頭中学校の通学に おける課題や問題は 教育長、点検を実施し 対策方法を検討する

質問

八頭中学校が開校して
1年経つ。通学方法につ
いて課題や問題は。通学
路の点検や周辺道路の安
全対策は。

答弁 藪田教育長

課題は自転車で通学す
る生徒の運転マナーが挙
げられるが、郡家警察
署、自転車店の協力をも
らい、自転車点検、運転
指導を実施している。
スクールバスは路線の
一部変更を行った。
通学路で安全対策が必

ンケートを実施しては。

答弁 吉田町長

若い人の意見は重要
だ。意見を取り入れるよ
うなアンケートは工夫し
てみたい。

要な案件は、通学路安全
推進会議が現地の合同点
検を実施し、対策方法を
検討している。現在歩道
がないところにグリーン
ベルトの検討がされてい
る。

質問

スクールバス運転手の
安全管理対策は。

答弁 藪田教育長

委託業者がその責任に
おいて点呼している。

質問

自転車通学の雨天時に
おける自家用車での送迎
の現状は。実際現状を見
に行かれたか。

答弁 藪田教育長

送迎は避けるようにと
お願いしているのでルー
ルはない。現状を確認し
たことはない。

質問

道路の拡張や安全標識
は。

答弁 藪田教育長

標識は未設置。道路の
拡幅、改良は困難と考
える。

○その他の質問

・保育所の栄養士配置に
ついて



▲ 学校の通学路（八頭中学校正門前）



西尾 節子 議員

地方創生

フルーツ街道の継承・転入
希望者の掘り起こしは

町長/農業ビジョン・
支援制度の活用

質問

フルーツ街道の継承・八頭ブランドの確立は、どんな実施計画を立てて進めているか。

答弁

吉田町長
果樹栽培について研修体制を整備し、後継者の養成を促進し、ブランド化、6次産業化の取組みを進める。

質問

積極的な転入希望者の掘り起こしなどはどう進めるか。

答弁

吉田町長
社会減の流れを変えるためには、雇用の場を作り、子育て環境を整備する取組みだけでなく、移住・定住に向けた積極的な取組みも重要である。



▲ 西条に輝太郎を高接ぎ（大門柿園）

国の加速化交付金を活用し、マスメディアを活用した魅力的な発信や、1市6町が連携した移住・定住の首都圏、関西圏プロモーションの実施、お試し住宅の確保に取組む。
リフォーム助成制度の創設や拡充を図る子育て支援制度や移住者支援制度をPRするパンフレットの作成など増加に向けた取組みを進める。

教育環境

環境整備の計画は

教育長へICT機器整備計画を進める

質問

教育環境の整備で取組内容に、「小学校の再編を進めると同時に施設の高齢化や統合に伴う施設改修を行い、既存施設の有効利用を図る」とあるが具体的にはどうか。

質問

タブレット端末や電子黒板など、ICTを活用した授業の充実を行うとあるが、現状と目標はどうか。

答弁

葦田教育長
27年度から4年間のICT機器整備計画を立て、充実した教育の情報化を図りたい。

答弁

葦田教育長
平成29年4月1日から小学校は4校に再編される。
新生八頭町立船岡小学校は、現船岡小学校の校舎を利用する。新生八頭町立八東小学校は、旧八東中学校の校舎・グラウンドなどを、28年度に事業費約3億2千万円の予算で改修して、既存施設の有効利用を図る予定である。

28・29年度で、小・中学校全ての学級に大型液晶ディスプレイとタブレット型端末をセットで整備する計画である。
28年度は42セットで中学校全ての教室に1セットずつ、小学校には各校最低2セットを整備したい。29年度には、小学校全ての整備を完了し、30年度からは、児童・生徒用のタブレット端末の整備に取組む予定である。



尾島 勲 議員

住民の福祉向上に繋げる 進捗状況は

町長/課長会を通じて 対応している

一般質問

質問 町長は、各議員が行った一般質問中の提案をどの様に町行政に反映させ、住民の福祉向上に繋げているか。

答弁 吉田町長

特別職と管理職員で構成する課長会を通じ、検討しながら対応している。

意見及び提案は、政策決定を行う上で、十分検討しながら町政の推進に活かしていく。

質問

平成26年6月定例会で、「八頭町丸ごと6次産業化プロジェクト」を提案した。その後の動き、現状について伺う。

答弁 吉田町長

民間主導が基本だ。本町として手伝えることはさせてもらうというスタンスだ。

質問

里山林業6次産業化の推進を提案するが。

答弁 吉田町長
八頭中央森林組合と話をする。

質問

26年12月定例会で八頭町、若桜町、宍粟市にまたがる往復160キロの戸倉峠越えの自転車ロードレースを提案した。2年経ったがどの様に構築したか伺う。

答弁 吉田町長

自転車ロードレースについては、連携が必要だ。

質問

平成27年3月に、ふるさと納税について、戦略と戦術に分けて考えるべきであると尋ねた。その後、戦略を構築したか。

答弁 吉田町長

戦略としてヤフークレジットのことを言った。

質問

それは戦略では無い。例えば、若桜鉄道でのSし走行の実現が戦略で、

景品を贈るのが戦術だ。再度、戦略について伺う。

答弁 吉田町長

戦略、戦術があるが、内部で検討し特産品などの充実で対応する。

質問

27年6月定例会で本町に酒文化を復活させる発酵の里づくりと銘打った6次産業化プロジェクトを提案した。その後調査したか。

答弁 吉田町長

調査した。4億円かかるということだ。酒税免許を新たに取得することが非常に困難だ。

質問

27年9月定例会でICTを活用した電子行政の導入について尋ねた。

答弁 吉田町長

オンデマンドバス、コンビニ納税、クレジット納税、住民票の銀行、郵便局、JAなどでの発行可能システムの構築など、現在の進捗状況について伺う。

答弁 吉田町長

オンデマンドバスは本年度、鳥取県東部の公共交通網形成計画の中で協議にかける。鳥取県とのICT行政

イントラシステムとか電子申請を協議中だ。ペーパーと機械の併用でないとはばらくはいけない。



▲ 鳥取県東部の酒蔵による地酒の試飲会（パレットとっとり）



下田 敏夫 議員

産業振興

循環集約型高機能農業の導入を

町長/実施の方向には進む

質問

「民を富ますことが、国が富むことだ」。

税収を増やすには、第一に産業振興をやることだ。

それには、現状の町の農業をイノベーションすることが一番大事なことを考える。

町内の団体から循環集約型高機能農業を核とする地域活性化の案が出ていると思うがこの案は、まさしく農業のイノベーションである。

キャス（瞬間冷凍装置、フリーズドライ（乾燥技術）、パッシブハウス（オールコンピュータ管理システム農業）、これらを組み合わせることで儲かる農業となる。

これをとことん追求すること。売れるところに、売れるものを持つていく。

これが、今の町の行政としてやるべきことと考える。

そうすることで、若い方、就農者の方が増えてくる。

早急に、循環集約型高機能農業について全力を挙げて取り組むべきと考えるが。

答弁

吉田町長

循環集約型高機能農業のことは聞いています。キャスなりフリーズドライ

イについては、今も話させてもらっている。そういう中で、本当に誰が主体になってやるのか。はたして、最終的にそれが現実的なことなのか。やはり一番大事なことは、財政的な規模の関係という課題もある。

当然町もだが、県も含めて今話をしていくところだ。そういうところが、一つずつクリアできれば、実施の方向には進むのではないかと考えている。



▲ 組織細胞を壊さない世界初のシステム、キャス（CAS）

一般質問

ここが聞きたい



山本 弘敏 議員

第2子から保育料無償化は条件付きか

町長/条件は一切なしだ

八頭町総合戦略

質問

①宅地造成について。12月定例会で「J A 船岡方ソリンスタンド前の土地がなぜ駄目になったか」の質問に、町長は「ほ場整備田のど真ん中のためだ」と答弁した。その後、代替の土地を検討したか。

答弁

吉田町長
①農地法上、許可の可能な市街化区域、もしくは市街化の傾向が著しい区域内にある農地で、駅から300メートル以内の農地、いわゆる第3種農地を検討していく。

質問

「地方創生の取組みの一環として、規制緩和などの適用が可能かどうか検討しつつ、再度ほ場整備田を候補地として検討する」との答弁だったが。

答弁

吉田町長
農業振興地域除外や農地転用に関する特例を設ける動きはないが、引き続き要請をしていく。

質問

地方創生のなかでベツドタウン化は町長として、最重要課題、重要課題、課題と分けたらどの位置と考えているか。

答弁

吉田町長
鳥取市のベツドタウン化により、移住・定住を促進することは非常に重要な課題であると考え

質問

②子育て支援について、鳥取県は年収360万円未満・2人以上の子どもが同時に通う場合などの条件を付けているが、本町の考え方はどうか。

答弁

吉田町長
②本町の第2子以降の無償化は、第1子が保育所に同時入所しているかいないにかかわらず、第2子以降を無償化するものだ。また総合戦略の期間中は継続しなければなら

不審電話相談

書面と電話を併用しては

町長／ベターな方法を

内部で検討する

質問

先日、隣のおばあさんが我家に来た。要件を妻が尋ねたところ、「役場からだ」。「身障者のことについて今日午後2時頃伺う」と朝の9時頃電話があったが、「本当に役場だろうか」と相談に来たそう

質問

不審電話が多くある昨今、書面を併用しては。

答弁

吉田町長
どの方法が一番ベターか内部で検討したい。

答弁

吉田町長
この場で管理職も聞い



▲ 不審電話と思ったら郡家警察署か役場へ



川西 聡 議員

自衛隊学校案内

教育委員会で問題点の議論を

教育長/議論の余地はある

質問

陸上自衛隊高等工科学校は、15歳以上17歳未満の男子が受験し普通科高校と同様な一般教育、自衛隊の専門的な教育、陸曹候補者として必要な防衛教養や各種訓練を行う防衛基礎教育などを実施している。2年生で射撃訓練54時間、戦闘訓練20時間、3年生は東富士演習場で総合的訓練を受ける。

18歳未満の児童に銃の使用をさせる訓練自体が、2000年5月に国連で採択された、児童の武力、敵対行為への関与を禁じた「武力紛争における児童の権利に関する条約の選択議定書」の趣旨に反している。

同校での銃の使用訓練は問題であり、同校の入学案内の資料を八頭中学校が配布するのは中学校が自衛隊への入隊を推奨しているかのごとき誤解を保護者に与えかねない。

①八頭中学校は、高等工科学校での射撃訓練など

の教育内容をどう把握しているか。

②教育委員会は、子どもに射撃訓練を施すような高等工科学校の入学案内資料は八頭中学校から生徒に配布しないよう指導するべきではないか。

答弁

荻田教育長

①学校は文部科学省の所管外で、防衛省・自衛隊

が自衛官になろうとする者を養成し教育する防衛大臣直轄の機関である。この学校の採用試験のお知らせと希望した生徒に自衛隊から配布された生徒募集案内により教育内容を把握している。

②陸上自衛官への入官、防衛省に配置されている防衛大学、防衛医科大学、航空学校などへの受験が



▲ 射撃訓練（学校案内パンフレットより）

質問

子どもに射撃や戦闘訓練

可能である点で生徒の進路選択の一つと考えている。資料配布は校長の判断もあり、教育委員会として指導するべきものとは考えていない。

答弁

荻田教育長

議論の余地はあろうかと思う。

練をやらせる学校案内を認めるのか、本町の町民を送っていいのかを教育委員会で議論してもらえないか。

期日前投票所

八頭高校内か 同校付近に新設を

選挙管理委員会委員長

現状では難しい

質問
熊本県大津町選挙管理委員会は、選挙年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、町内の県立高校2校に期日前投票所を設置することを決めた。高校生の身近に投票が出来る環境を作り、主権者としての意識を向上させることが目的である。

本町も、投票率の向上につながる施策として八頭高校内か同校付近に新設するべきではないか。

答弁

石谷選挙管理委員会委員長

視点は重要だと考える。しかし、人員の確保や二重投票の防止策などの課題もあり現状として設置は難しい。今回のことにはならないが、今後関係機関と協力しながら十分検討する。

両校では選挙期間中は1日限定での予定である。



高橋信一郎 議員

中学生の制服

保護者に対する経済的な負担軽減は

町長/教育委員会と話し合いをする

質問

町長は五つの公約のうち、一番目として「笑顔のあふれる町づくり」を掲げている。その中身は子育て・健康・福祉だ。具体的には学校での教育環境の充実などが、家庭の所得格差が生むと言われる教育格差の解消という観点に立つと、今一度不十分かと思われる。

町長の所見と教育長の予算要求の考え方について問う。
制服・体操服・履物などが学校指定とされている。これらを揃えると、男女・体格で相違はあるものの、女子の場合は8万9850円、男子の場合が7万6280円。三年間着たきりスズメとは行かない上に、クラブ活動に係る服装も保護者負担となっている。結局、短期間で一人当たり10万以上かかっているのが実態だ。
教育環境整備の方の予算は認めているが、制服など、一般家庭に対する直接の軽減措置は平成28

年度予算案においても無い。今後もしそういう形で行くのか。

答弁 吉田町長

中学校の入学時には制服などの購入、入学後も教材や部活動に係る費用などにも必要になり、小学校に比較しても保護者の経済的負担は増加しているのが現状だ。

このため、経済的理由により教育費の負担感の大きい家庭について、就学援助制度を活用して新入学用品・通学用品・修学旅行代・給食費などについて助成を行っている。

質問

制服などを買うのに際して複数の店を指定店としていますが、指定の経緯と価格はどのように決められているのか。教育委員会はこの価格について、指導や値切り交渉を行っているのか。

答弁

荻田教育長
予算については教育大

綱に盛り込まれた経費について要求している。

制服は統合準備委員会の方でどれにするかというところで決定をした。価格については標準デザインというものがあって、メーカーによる全国的な相場観で決まっているような感じだ。教育委員会で価格交渉したという経緯はない。

質問

今年の新入生の入学にかかる費用は単純に計算しても総額1500万円。これを半額助成したら750万円、四分の一でも375万円。色々な補助金や助成金がある中で、それらに比較したら安いものだ。助成することを考えてみないか。

答弁 吉田町長

経済的な負担感の大きな家庭に限定的な措置をしている部分もある。

指摘された話のようであれば、教育委員会が中心になろうかと思うが、内部で検討し話をしてみ

る必要がある。

○その他の質問
・公務員の倫理について



▲ 新しい制服で気持ちも晴れやかに（平成28年度入学式・八頭中学校）



小倉 一博 議員

地方創生

若い人のニーズ調査を

町長/若い人の会も考える

質問

地方創生の具体化には、町民の支援と関係地域の協力が欠かせない。主要事業の狙いと具体策について尋ねる。

答弁 吉田町長

(1)イノベーションバレーの創設は、製造業などの大型企業誘致が困難になる現状で、インターネット環境を活用した情報関連企業などを学校などの空き施設に誘致したい。昨年10月に国の交付金が満額認可され、ソフトバンクヒューマンキャピタル(株)と委託契約を交わした。同社により企業誘致への働きかけをしている。

園プロモーションなどに取り組む。

(3)八頭フルーツ街道の継承と八頭ブランドの確立では、果樹栽培の研修体制を整備して後継者の養成を促進する。ブランド化や6次産業化の取り組みを進める。農業振興協議会を立ち上げ、農業ビジョンも作成した。

(4)安心子育て生き生き学習のまちについては、第2子以降の保育料の無料化、乳児保育などの保育サービスを充実させる。統合保育所の建設を進め、特別保育体制を充実させる。

(5)小・中学校に大型ディスプレイやタブレットパソコンなどを整備、ICT導入により新しい時代の教育環境整備に努める。

質問

若い人が地域に残らない限り人口減少は止められない。本町を選び住んでもらうために何が必要か、若い人のニーズを的確に調査する必要がある

のではないかと。

答弁 吉田町長

行政懇談会などを見ても、若い人の参加は少ないのが現実である。若い人をターゲットにした会も考えてみる必要がある。

青年団も再結成された。今後の会の在り方を検討する。

質問

結婚・出産の希望がかなえられない子育て環境の整備という目標について、難しい課題だが町民が参加、協力できる部分ではないか。

答弁 吉田町長

行政としても婚活イベントを実施している。民間、企業も含めて婚活事業に参加してもらいたい。

質問

宅地造成の目標74戸について考えを聞きたい。

答弁 吉田町長

鳥取市のベッドタウンとして、民間事業者と並行して対策を進める。

○その他の質問

・町社会教育の進め方を問う



▲ にぎわう大江ノ郷ヴィレッジ



桑村 和夫 議員

地域福祉計画
地区公民館

課を超えた検討が 必要だと思うが 町長/他の課と検討委員会で 議論している

質問

平成24年から29年度にかけて、6年間で概ね旧小学校区14地区を活動拠点として取組んでいる。現在取組み活動しているのは8地区であり、29年度中計画通りに取り組むことができるのか危惧している。

①現在の取組み進捗状況は。進んでいない状況は何が問題なのか。

②社会情勢が変化してきており、介護保険から要支援1・2が外された本町の取組みは。

③地区公民館のあり方検討委員会は27年度3回開催された。検討状況は。

④地域福祉計画と地区公民館のあり方については、かなりだぶる部分がある。いずれも旧小学校区を対象にするべきであり、課を超えた検討が必要だと思うが。

答弁

吉田町長

①平成12年の介護保険制度の発足以来、要介護認定を受けると介護サービスによる支援となり、地

域で支え合う力が脆弱となつてきている。地域でのつながりの強化を図らなければならぬが、地域のみならず支え合う必要性を理解してもらえていないと思つて居る。

②地域福祉の取組みは、見守りが必要な方の居場所の提供、元気な高齢者の介護予防の場の提供、それぞれの地区での支え合いを行つてもらい、平成29年度からの要支援者の総合支援事業への移行を念頭に置いて体制の整備に努め、本町としての支援を行つて居る。

④本町の地域福祉計画では、住み慣れた地域の範囲として、福祉推進組織を旧小学校単位につくることとし、地区公民館のあり方については、検討委員会で議論が行われている。先般、保健課の職員も出席しており、最終的には検討委員会の報告を受け、教育委員会部局との協議を進めたい。

答弁

藪田教育長

③公民館は、地域住民が

集まり交流するコミュニケーションをとることの出来る拠点として重要な施設である。

小学校が統合しても地域のつながりを大切にすべく地域に密着した小さな規模の公民館がよいという意見と、大きな規模の公民館の方が社会教育を行う上でメリットがあるという、相反する意見もある。旧小学校区を対象としたまちづくり委員会と地区公民館の機能を併せ持つ施設がよいという意見もある。

それぞれの良い点、悪い点、改善すべきことなどを様々な角度から検討、検証し、最良の公民館体制を検討している。



▲ 下私都地区福祉施設「きんさいや」



栄田 秀之 議員

町の財政

平成28年度予算はいかに

町長/地方創生に関連した予算だ

質問

予算は、町が年度に実施したい事務や事業にかける経費と、それを賄うために必要な財源をどのように調達するかを計画して、金額で示したもので、町の1年間の収入と収支の見積もりである。

- ①平成27年度から交付税の縮減が始まっている。
- ②人件費の抑制対策について、人件費の県内類似団体と比較してどのような状況にあるのか。
- ③予算における経常収支比率の前年対比は。
- ④予算における町税の滞納繰越分の徴収対策は。

答弁

吉田町長

①普通交付税は、合併算定替による特例措置分の7割程度を見込んでいます。

当初予算額は前年より約8億円の増額。主な要因は、地方創生関連事業と保育所の新築事業だ。抑制に努めている。
②第2次定員適正化計画による。27年4月、23

3人で計画を6人上回っている。類似団体より削減効果は大きくなっている。

- ③建設事業、臨時財政対策債の影響から公債費が増加傾向の見込みであり、抑制に努める。
- ④収納対策本部、徴収専門員などの訪問納付相談や分納徴収を行い収納力を高める。

質問

27年国調人口は、1万6990人で5年間に1437人減少し、減少率は7.8%だ。この人口減少を、どのように予算に取り組んでいるのか。

答弁

吉田町長

人口の減少を見据えつつ、交付税についても、予算的に算定を行って、反映させている。

質問

28年1月の監査意見書に、「さらなる徴収努力を求めたい。滞納者の実態把握、他課との連携強化」などあり、徴収率

向上の取り組みについて伺う。

答弁

吉田町長

現在各課の情報を収集しつつ、法的措置なども加味した中での対応で、徴収率の向上を図る。



▲ 郡家東小学校

交通教育

自転車安全教育を

教育長／学校で研修の機会を設ける

質問

27年から道路交通法が改正され、自転車も罰則が適用、保護者への賠償請求も生じている。子どもたちが安全に事故のないように自転車に乗ってもらいたい。自転車安全教育について伺う。

答弁

菺田教育長

各小学校で、日々生活の中で、時期や状況に応じて指導している。

質問

4月6日から春の交通安全運動が始まる。自転車は車両で車道が原則、歩道通行は歩行者優先で車道よりを徐行する、並進の禁止、夜間のライトの点灯など新しい原則を学校で教えるべきではないか。

答弁

菺田教育長

期間中にそれぞれの学校で、研修の機会を設けることと思う。

その他の質問

・地方創生加速化交付金について

議案等議決結果

(第1回臨時会・第2回定例会)

○全会一致で可決した議案等

議案等番号	件名	議案等番号	件名
第1回臨時会			
1	八頭町福祉事務所設置条例の一部改正について	8	平成27年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第3号)
2	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正について	9	平成27年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第4号)
3	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	10	平成27年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第3号)
4	八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	決議 1	坂根實豊議員に対する議員辞職の勧告決議について
6	平成27年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	決議 2	議会基本条例を遵守し議員の資質向上に努める決議について
7	平成27年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第3号)		
第2回定例会			
11	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	39	平成27年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
12	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	40	平成27年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第4号)
13	八頭町辺地に係る総合整備計画について	41	平成27年度八頭町住宅資金特別会計補正予算(第2号)
14	八頭町過疎地域自立促進計画について	42	平成27年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第4号)
15	八頭町長の調査等の対象となる法人を定める条例の制定について	43	平成27年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第5号)
16	八頭町スクールバス車庫設置条例の制定について	44	平成27年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第4号)
18	鳥取県行政不服審査会共同設置規約に関する協議について	45	平成27年度八頭町宅地造成特別会計補正予算(第1号)
19	八頭町情報公開条例の一部改正について	46	平成27年度八頭町墓地事業特別会計補正予算(第1号)
20	八頭町個人情報保護条例の一部改正について	47	平成27年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
21	八頭町行政手続条例の一部改正について	48	平成27年度八頭町大江財産区特別会計補正予算(第1号)
22	八頭町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	51	平成28年度八頭町簡易水道特別会計予算
23	八頭町手数料徴収条例の一部改正について	52	平成28年度八頭町住宅資金特別会計予算
24	八頭町職員の退職管理に関する条例の制定について	53	平成28年度八頭町公共下水道特別会計予算
25	八頭町職員の降給に関する条例の制定について	54	平成28年度八頭町農業集落排水特別会計予算
26	八頭町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	56	平成28年度八頭町宅地造成特別会計予算
27	八頭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	57	平成28年度八頭町墓地事業特別会計予算
28	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正について	59	平成28年度八頭町上私都財産区特別会計予算
29	八頭町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正について	60	平成28年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計予算
30	八頭町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	61	平成28年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計予算
31	八頭町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	62	平成28年度八頭町篠波財産区特別会計予算
32	八頭町税条例の一部改正について	63	平成28年度八頭町大江財産区特別会計予算
33	八頭町国民健康保険税条例の一部改正について	64	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
34	八頭町行政財産使用料条例の一部改正について	陳情 1	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情
35	ふるさと活性化基金設置条例の一部改正について	陳情 2	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情書
36	八頭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	発議 3	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出について
37	八頭町公共下水道条例の一部改正について	発議 4	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出について
38	平成27年度八頭町一般会計補正予算(第8号)		坂根實豊議員に対する懲罰の件

○賛否の分かれた議案等

議案等番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	件名	山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾節子	小倉一博	河村久雄	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	栄田秀之	
第1回臨時会																	
5	平成27年度八頭町一般会計補正予算(第7号)	○	○	欠	○	○		○	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
第2回定例会																	
17	鳥取県自治体ICT共同化広域連携協約の締結に関する協議について	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
修正動議	平成28年度八頭町一般会計予算に対する修正動議	×	×	×	○	×		×	×	○	×	×	○	○	×	×	否決
49	平成28年度八頭町一般会計予算	○	○	×	×	○		○	○	×	×	○	×	×	○	○	可決
50	平成28年度八頭町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
55	平成28年度八頭町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
58	平成28年度八頭町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
陳情3	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	○	×	×	×	×		×	○	×	○	×	×	×	○	×	不採択
陳情4	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情書	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
陳情5	TPP協定を国会で批准しないことを求める陳情	×	×	×	×	×		○	×	×	○	○	×	×	○	×	不採択
発議1	八頭町議会議員の定数を定める条例の一部改正について	○	○	○	×	×		×	×	○	×	○	○	○	×	○	可決
発議2	八頭町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」、議場退席「-」、欠席「欠」で記載。議案の採決は、谷本正敏議長を除く14人で行う。

私も言いたい ~議員OBからの声~

言いは易し、実践はかたし

八頭町郡家 前八頭町議会議員 谷口美佐子



議員だった頃、町民の方から「先生」と言われる事が多々あり、冗談にも「えっ、誰に言っているんですか？」と問うたりした事がありました。議員は議会で論戦することが大事な仕事です。それには、色々調査したり町民の方とよく話し合い、問題を解決し町政に活かしていかなければならないと思います。「言いは易し、実践はかたし」とよく言ったものです。

元議員だった人に何かご意見をと編集委員の方に依頼され、私なりにしたためてみました。

議員になった頃、議会はどうなるのか右か左も分からず失敗すること再三、慣れたころにも、ものの言い方で失敗もした。「失敗は二度と繰り返すな」が私の鉄則なのに、自分でも情けなかったことです。

議論はあくまでも議論であり、納得のいくまで問い質すこともいいのですが、あくまでも自己のみの納得であつてはならないし、町民誰もが納得できるものでなければなりませんと思います。町政が判らなければ役場の方に問うたり独自で調べたりすることも大事です。

ベテラン議員の方にも相談するのもいいでしょう。議員みんなで切磋琢磨し、自分自身も磨いていかなければなりません。

毎回の議会がある度、今回はどんな議題がでてくるか楽しみでもありました。TV放映は本会議と一般質問のみになっていますが、特別委員会や各種の委員会、臨時議会もあり、議員は公務、病気等の正当な理由がある場合を除き、必ず出席しなければなりません。そんな時ほどいろいろな問題も持ち上がったります事もあります。議員ひとりひとりが町民の代表であるのですからそれに徹する事が大切ではないでしょうか。

拙いお小言を失礼いたします。

定例会本会議を
ケーブルテレビで
中継しています

議会の傍聴を
してみませんか

一般質問は
再放送しています

TEL 0858-72-3975
FAX 0858-72-2641
(議会事務局)

八頭町議会

検索

月日	曜	開議時刻	日	程	月日	曜	開議時刻	日	程	
6月7日	火	8:40	6月7日	○ 全員協議会 ○ 本会議 1 開会 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 4 諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 5 町長あいさつ 6 議案上程 7 同上に対する町長の提案理由の説明 散会后 ○ 全員協議会(議案説明)	6月13日	月	9:30	6月14日	火	○ 本会議 1 町政に対する一般質問 ○ 常任委員会
		9:30					○ 常任委員会			
		9:30					○ 常任委員会			
		9:30					○ 連合審査会			
		9:30					○ 全員協議会			
		9:30					○ 本会議 1 議案に対する質疑等 2 議案の委員会付託			
		9:30					○ 本会議 1 町政に対する一般質問			
9:30	○ 本会議 1 町政に対する一般質問									
6月8日	水	9:30	6月8日	水	6月15日	水	9:30	○ 常任委員会		
6月9日	木	9:30	6月9日	木	6月16日	木	9:30	○ 連合審査会		
6月10日	金	9:30	6月10日	金	6月17日	金	9:30	○ 全員協議会		
6月11日	土	休日	6月11日	土	6月18日	土	休日			
6月12日	日	休日	6月12日	日	6月19日	日	休日			
					6月20日	月	休会	事務整理日		
					6月21日	火	9:30	○ 本会議 1 常任委員長付託議案審査報告 2 議案の可否決定 3 常任委員長付託請願・陳情審査報告 4 請願・陳情の採否決定 5 閉会		

※なお、7、8、9、10、13、21日はケーブルテレビで中継します。

編集後記

3月定例会の最終日に一般会計について修正動議があり、質疑、討論が活発に行われました。地方創生総合戦略のスタートとなる予算です。予算執行にあたっては慎重に丁寧に進められチェックすることが議員に求められます。

その本会議で議員定数が2人削減される条例改正が可決されました。議員の資質を高め、活発な議員活動を行い町民の声を議会に反映することが求められます。

広報編集も読みやすく内容あるものにと日々考え前進していきます。そのためにも、ぜひ、ご感想、ご意見などお聞かせ願えればと思います。

(記・奥田のぶよ)

- 編集委員
- 委員長 川西 聡
 - 副委員長 奥田のぶよ
 - 委員 小林 久幸
 - 委員 坂根 實豊
 - 委員 下田 敏夫
 - 委員 河村 久雄
 - 委員 柴田 秀之



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています

